

Linked Open Dataとメディア

= 調査結果からの私見 =

2010年3月5日

セマンティックWebコンファレンス2010

株式会社MetaMoJi 乙守信行



苦悩するメディア業界 (1/2)

「BPnet 新聞のネット進出が苦戦続きなのはなぜか 2009年12月22日

山本一郎＝イレギュラーズアンドパートナーズ代表取締役” から抜粋」

■死屍累々の米国のネット進出事例

情報の無料化に伴う顧客離れ

■情報産業のパイが縮小しつつある

新聞に限らずアメリカの情報産業全体でコンシューマー（一般国民）の情報支出は年間4%から6%程度下落

■ウェブ単体だけの展開はできない

赤字の新聞紙を削ったら、黒字のウェブに人が流れてこなくなってしまうというジレンマ

■高い人件費のままネットで勝負はできない

ウェブ部門を作った大手全国紙では、帳簿上の年間コストは18億円にのぼる。一般的なIT企業がウェブを維持するのに必要なランニング要員は年俸わずか450万円程度が相場で、PV（ページビュー＝視聴回数）が10億を超えるニュースサイト部門でもそれをハンドリングするのに4人程度で回している

■実際に新聞の記事には極めて高い信頼を寄せている

各メディアの信頼度調査では、「新聞を信頼する」と答える層は年代を問わず圧倒的に高い。新聞の支持率は80%を超えている

■抜本的な解決策は「束ねる」こと

新聞社のサイトは品質の確保された新聞記事を掲載する力があるだけで、ウェブの構築力はない。ウェブの構築力はここ、動員力はここという具合に横に展開していく方法が望ましい

-成功例は読売オンラインの「発言小町」

■新聞記事以外のコンテンツを作り込め

より生活に密着した情報、深掘りした情報、連載など新たなコンテンツを編み出す力が必要

■行き着くのはコストダウン努力



苦悩するメディア業界(2/2)

「AFPBB News BBCがウェブサイト半数を閉鎖へ、政権交代にらみ先手か」

2010年02月26日 16:19 発信地:ロンドン/英国

- ・ イギリスの公共放送、英国放送協会 ([British Broadcasting Corporation](#)、BBC) が大規模な事業縮小に踏み切り、運営するウェブサイトの半数とラジオ局2局を閉鎖すると、英紙タイムズ ([Times](#)) が26日報じた。
- ・ 運営するウェブサイトの半数を閉鎖し、人員と予算を25%削減する
 - ・ 若者向けラジオ局「[6 Music](#)」と「[Asian Network](#)」の2局を閉鎖
 - ・ 米国で制作された番組の購入予算の削減。
 - ・ 営利事業を担う子会社のBBCワールドワイド ([BBC Worldwide](#)) は海外事業に特化し、英国で行っている雑誌事業を廃止する。
- ・ 「無料ニュース」への逆風
英国内に住むテレビ所有者に購入が義務付けられている許可証 (TVライセンス) 料などを財源とするBBCは、市場で不公平に独占的な地位を占めているとしてライバルの民放局などから批判をたびたび受けている。

特に、メディア大手ニュース・コープ (News Corp/ウォールストリートジャーナル) のルパート・マードック ([Rupert Murdoch](#)) 氏などは、インターネットでニュースを無料で読める時代は終わらせるべきだと主張している。



何をリンクするのか？

コンテンツ (自社内)

- ・ サイロ型のページをリンクしたユーザアクセシビリティの向上
- ・ コンテンツの粒度を下げ、関係をオントロジーで管理することで柔軟で低コストの情報提供を実現

海外実績から

これらを実現するためにはセマンティック Web/Linked Open Data を技術導入すること自体は有効

コンテンツ (自社外)

- ・ 新聞/放送の信頼性の高いコンテンツとSNS的な話題性の高いコンテンツのリンク
- ・ 社外サービスとのリンク
- ・ リアルタイム性 (ニュースなど) と非リアルタイム性 (アーカイブ資料) のリンク

ビジネスとしての評価は？

技術だけでは解決しない要因が多々ある/コストダウンの戦略/初期投資が民間でできるか？

サービス

- ・ コンテンツをサービスのポータルへ
- ・ より魅力的なサービスは社外の開発者へ

日本は遅れている？

日本では試験運用さえできない
海外を参考にするチャンスがある？
後発の強み